

校名：筑波大学附属駒場中・高等学校

所在地：〒154-0001 東京都世田谷区池尻 4-7-1 電話番号：03（3411）8521

記載日：2016年5月27日 記載者：濱本悟志 記載者役職：高等学校副校長

本校の校風と教育目標・教育方針について

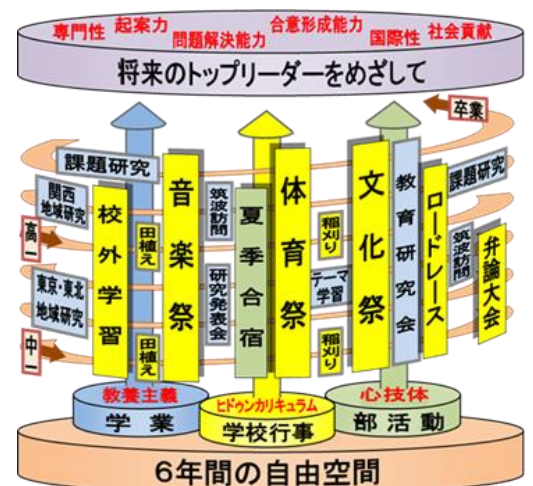


【沿革（概要）】

- ◇ 1947年、東京農業教育専門学校の附属として開校
- ◇ 1949年、東京教育大学の附属となる
- ◇ 1978年、現在の筑波大学の附属となる
- ◇ 特色：稲作実習のある国立大学附属唯一の中高一貫男子校
中学校は1学年3学級、高等学校は1学年4学級
全員が連絡進学可能、高校からは約40名が入学

【学校目標】「自由闊達の校風のもと、『挑戦』し、『創造』し、『貢献』する生き方をめざす」

本校の教育活動における方針は、「学業」「学校行事」「部活動」の3つの教育機能を充実させ、学校という場で生徒の全面的な人格形成を促し、発展させていくところにあります。そして、これらの活動を通して、豊かな個性を伸ばした『専門性』や『国際性』の涵養、ミッション達成に向かった『起案力』、直面する難題に果敢に挑む『問題解決能力』、互いに異なる才能を融合する『合意形成能力』、仲間や周りを大切にする『社会貢献』の精神の育成に努めています。



本校の卒業生の活躍状況について

- ◇ ほぼ全員が大学に進学し、その後は多くの卒業生が自分の専門性を活かし国際舞台でも活躍
(2016年進学状況：国公立大学131名(現90、再41)、私立大学26名(現11、再15))
- ◇ 卒業生の母校愛は強く、学校行事や部活動から進路相談まで、在校生に対して助言
(高校2・3年の進路懇談会では、毎年30名以上の卒業生が在校生の進路相談を実施)
- ◇ 卒業後の進路先については、同窓会である「若葉会」が情報を集約・管理し、学校と共有

本校勤務経験者の活躍状況について

- ◇ 教員ほぼ全員が大学の独自採用で、公立学校や教育委員会に戻る例は少数
- ◇ 教育研究会や教員免許状更新講習等を開催し、互いに研修できる場を多く設定
- ◇ 本校における中等教育での実践を踏まえ、大学での教科教育や教員養成の研究に貢献

本校の教育活動の特色 ～全人教育による人格形成をめざして～

20年、30年先を見すえたリーダー形成 ～学業・学校行事・部活動を通して～

●教養主義で深い学問的学びを

通常の授業では、全教科を重視した教養主義を貫いています。また、机上の学習に留まらず、「総合的な学習の時間」として、フィールドワーク（中2 東京・中3 東北・高2 関西）、少人数による探究学習（中3 テーマ学習、高2・3 課題研究）、発表学習（地域研究発表会、テーマ研究発表会）なども盛んに行っています。この姿は、教え合い学び合いによる『拡充型教育』の実践例として高く評価されています。



（中2の東京地域研究発表会）

●稲作のある全国唯一の中高一貫男子校

明治期に近代農法を伝えた“ケルネル田圃”を継承し、中1と高1は苗床作り、耕起、田植え、草取り、稲刈り、脱穀を体験しながら米作りを行っています。これを通して、労作体験ばかりでなく、環境問題や稲作文化の歴史を学びます。なお、収穫したもち米は、卒業生と新入生に赤飯として配られます。



（ケルネル田圃での田植え）

●学校行事で創造性とリーダーシップを

学校には二つのカリキュラムが存在しているといわれています。一つは学業（授業）で、その目標と課程を規定した「明示的なカリキュラム（explicit curriculum）」です。もう一つは学校行事で、活動や人の繋がりなどから学ぶ「潜在的なカリキュラム（hidden curriculum）」です。本校では、1年を通して多くの学校行事が実施され、以下を『筑駒の3大行事』と呼んでいます。

■音楽祭：6月に昭和女子大学人見記念講堂で実施するクラス対抗の合唱コンクール

■体育祭：9月に2日連続で実施するオリンピック形式のスポーツ競技会

■文化祭：11月に3日連続で一般公開する最大行事（来場者は15,000人を超える）

学校行事は、「①直面する課題に立ち向かう実践の場」「②生徒が企画・運営の主役となる場」「③個性が発揮される場・評価される場」「④リーダーとフォロアーの育成の場」「⑤異学年集団での教え合いと学び合いの場」「⑥班・学級・学年・学校という組織での活動を通して、社会の構図を学ぶ場」「⑦人格形成の場かつ学校文化継承の場」であり、学校文化としてすでに定着し、リーダーに必要な創造性、特に起案力・問題解決能力・合意形成能力などが育っています。



（音楽祭での「クラス合唱」）



（体育祭での「相撲」）



（文化祭での「高3ステージ」）

国の拠点校としての取組み ～先導的教育・教師教育・国際教育の推進～

●SSH研究開発校としての先導的教育の推進

SSH研究開発は15年目を迎え、現在は「豊かな教養と探究心あふれるグローバル・サイエンティストを育成する中高大院連携プログラムの研究開発（2012～16年度）」に取り組んでいます。「トップリーダー育成のための教育の高度情報化事業（2012～14年度）」の成果と合わせて、国内外に積極的に発信しています。



(SSH 生徒研究発表会 (インテックス大阪))

●筑波大学研究室訪問で第一線の研究を体験

毎年2月には中学3年生全員(約120名)が筑波大学を訪れ、「大学で何を学ぶのか?」をテーマに全体講演、研究室見学や授業参加を体験しています。7月には高校2年生全員(約160名)が希望する研究室を訪ね、学問の最先端に触れながら第一線の研究者から直接指導を受けています。この体験が将来に大きな影響を与え、20～30年後に日本や世界を牽引する多くの研究者やリーダーが輩出されることを期待しています。



(筑波大学訪問での野外実習 (中3))

●国際交流による教育のグローバル化

2009年から毎年、SSH研究開発事業の一つとして台湾台中第一高級中学(日本の高校に相当)に生徒を派遣し、授業参加や生徒研究発表会を通して国際交流を実施しています。7回目となる今年は国際協定(姉妹校)を締結しました。2013年から毎年、大韓民国釜山国際高校との相互交流を実施しています。1月には本校で3月には釜山国際高校で授業や史跡見学などを通して、文化交流を盛んに行っています。

生徒たちは各種国際科学コンクールへも積極的に参加し、これまでに国際大会で金メダル23、銀メダル38、銅メダル18を獲得しています。



(台中第一高級中学での生徒研究発表会)

●教師教育と社会貢献 ～国や地域の拠点校として～

本校の伝統的な全人教育や、国の拠点校として先導的教育での実践を社会に発信することは、国立大学法人の附属学校の使命と考えています。毎年11月には教育研究会を開催し、公開授業と教科毎の協議会に加えて、現代の教育課題をテーマにシンポジウムを実施しています。2009年度から始まった教員免許状更新講習では、本校を会場として講習を企画・運営するとともに、多くの教員が講師を務めています。



(教育研究会でのシンポジウム)

地域における教育活動について

◇ 社会貢献プロジェクト「筑駒アカデミア」

本校の人材（教員・生徒・卒業生など）を活用し、毎年『講演会』と『公開講座』を開催しています。この企画は、地域の共催や後援事業の認定を受け、多くの地元住民が参加しています。

【2015年度の実績】

- ・講演会（11/14）『元気で長生きを目指して～高血圧といかにうまくつきあうか～』
- ・講演会（1/23）『市場・制度を創る～社会の様々なデザインに活用される仕組みづくり科学～』
- ・公開講座（3/28）地域の住民の方（小学生～お年寄り）を主な対象として11講座を開講
《講座名》『点と線で生物を描く～大人のチリメンモンスター～』『ワインから見える世界史』『Brush Up Your English』『はじめよう！ジャグリング』『人と人をつなぐブラインドサッカー』『将棋を楽しむ』『筑駒LBC 3・1・2 弁当箱法』『環境地図をつくろう』『いろいろな多面体をつくろう』『高校生といっしょに実験してみよう』『化石のレプリカを作ろう』

さらに、夏休みに近隣の小学校で、11月に茨城県大子町立小学校で化学部が出前実験授業を実施しています。



（高校生といっしょに実験してみよう）

本校の附属学校としての存在意義について

◇ 「グローバル人材の育成」と「インクルーシブ教育システムの構築」の推進

筑波大学の附属学校では、第3期中期目標・中期計画（2010～15年度）として「先導的教育」「教師教育」「国際教育」の実践と発信に重点を置いてきました。これらの成果を活かし、第4期中期目標・中期計画（2016～21年度）では「グローバル人材の育成」「インクルーシブ教育システムの構築」の推進に取り組んでいます。

筑波大学には6つの普通附属と5つの特別支援学校が存在します。現在、この11を学校群（スクールクラスター）と位置づけ、様々な障害のある児童生徒が共に教育を受けられるインクルーシブ教育システムの構築をめざし、一体となって日々前進しています。

【2015年度の実績（新企画）】

7校の児童生徒と11校の教職員による『黒姫高原共同生活』が発足しました。様々な障害のある児童生徒が、2泊3日の共同生活の準備と実践を通して多彩な交流活動を展開し、合理的配慮の大切さを学びながら個性の尊重と伸張をめざす画期的な実践を行いました。



（黒姫高原自然散策）



（キャンプファイヤー）



（共同生活参加者一同）